

〔様式 1〕

令和 2 年度南予地方局予算の実施状況 (R3. 3. 31 現在)

- 1 予算事項名 シカ被害防除推進事業費(南予)
- 2 事業期間 令和元年度～令和3年度
- 3 所 管 南予地方局産業経済部森林林業課
- 4 事業概要

平成 29 年、愛媛県は 6 年ぶりにヒノキ生産量、全国 1 位に返り咲いたところであり、南予地域は、県下ヒノキ森林面積の約 6 割を占めるヒノキの主産地で、資源も充実している。しかしながら、愛媛県随一のシカの生息密度のため、被害面積・材積ともに最も多く、成木へのシカ被害は、将来の木材収入に影響を及ぼす。

このため、緊急かつ地域一帯となったシカ被害の防除対策が望まれており、これから収穫期を迎える森林施業後の成木に対するシカ被害防除策を実証し、シカ被害の低減と高品質ヒノキ材等県産材の増産により南予地域の活性化を図る。

	令和 2 年度
予算額	828 千円

5 事業内容


(1) 【残存木被害実態調査】(予算額 289 千円)

管内における、従来の間伐施業や主伐再造林施業地周辺の残存木のシカ剥皮被害等の実態を把握し、関係者で認識を共有する。

① 林業事業体等の情報収集

実施日及び実施場所	参加者	内 容	実 施 状 況
7月3日(金) 南予地方局7階第1会議室	各市町、南予森林組合、愛媛森林管理署等14名	事業概要と取り組み内容を協議 被害状況の情報収集	
10月22日(木) 鬼北町上鍵山町有林ほか	各市町、南予森林組合、林業事業体2社、10名参加	事業概要と取り組み内容を協議 被害状況の情報収集	

② 剥皮等被害地における現地視察研修

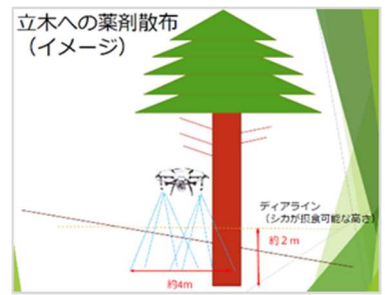
実施日及び実施場所	参加者	内 容	実 施 状 況
11月6日(金) 南予地方局7階第2会議室及び宇和島市内現地	林業研究グループ会員、各市町、南予森林組合等20名	ドローンを活用した忌避剤散布研修	
3月9日(火) 南予地方局7階第2会議室及び鬼北町県有林水分事業所	各市町、南予森林組合、林業事業体等46名	シカの剥皮等被害地における現地対策技術研修	

(2) 【シカ剥皮被害等防除実証事業】(予算額 539 千円)

施業後の残存木に対するシカ剥皮被害等防止に効果のある防除対策を検討する。

- ① 新たな忌避剤・防除器具等の検討
- ② 忌避剤・防除器具等による現地実証

(ア) 森林作業道沿い立ち木へのドローンを活用した忌避剤の散布方法及び効果の実証



(イ) 防除器具等による現地実証



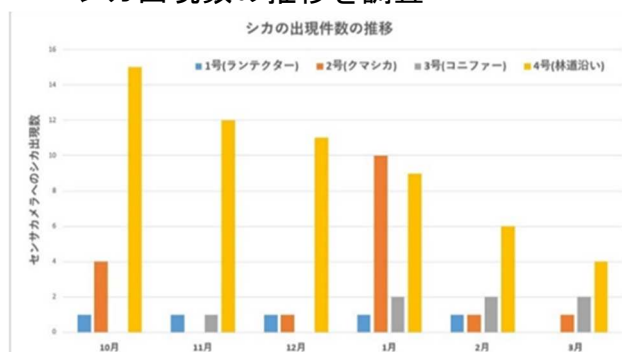
(ウ) 効果的な忌避剤散布方法、防除器具選定と技術普及

- ・ センサーカメラ画像の解析



センサーカメラの画像を解析し、地点毎に映り込んだシカ等野生動物の数をカウント。

- ・ シカ出現数の推移を調査



初回の散布実証試験を行った9月末から、翌年3月末までのセンサーカメラ画像を解析した結果、個体数も徐々に減少傾向が見られ、忌避剤の散布により、シカの行動範囲に変化が生じたと考えられることから、忌避剤の効果が認められる。しかしながら、この短期間では薬剤の違いによる効果まで確認ができないため、今後も継続して検証を行う。